

～生活と生業（なりわい）の技術・文化と景観～



江戸時代以来の漁業拠点 銚子漁港  
(銚子市)



黒潮が運んだしょうゆ醸造技術  
(銚子市)  
〔写真提供：銚子市教育委員会〕



広い砂浜を生かして地引き網漁が盛ん  
だった九十九里浜（九十九里町）



房総漁業の技術と歴史を伝える重要民  
俗文化財・房総半島の漁労用具（館山市）  
〔写真提供：県立安房博物館〕



江戸時代以来、地産地消の伝統を伝え  
る勝浦朝市（勝浦市）  
〔写真提供：勝浦市教育委員会〕



とあさ 遠浅の地形を利用した漁法 \* 簀立漁（す  
だてりょう）の景観（木更津市）  
〔写真提供：木更津市〕



川の流れを利用するかんがい\*システム  
西広堰（市原市）  
〔写真提供：市原市教育委員会〕



きゅうりょう 房総丘陵の斜面に作られ雨水を利用す  
る大山千枚田（鴨川市）

\*用語解説) [ 簀立漁（すだてりょう）] 海中に竹などで荒く編んだむしろを立てて、入った魚をとらえる漁法。  
[ かんがい（灌漑）] 田畑に水を引いて注ぎ、土地をうるおすこと。